※令和３年度以前入学生用

学校番号	T1202

令和５(2023)年度　公民科

教科	公民	科目	通信政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版 政治・経済（数研出版）						
副教材等	自作プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・政治や経済の基礎的、基本的な事柄について学習する。
・できるだけ身近な事例を授業に取り入れ、生徒が理解しやすいよう努める。

２　学習の到達目標

現代を生きるうえで、必要な政治・経済の基礎的な知識を身につけ、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民としての必要な能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的多角的に考察し、社会の変化や様々な考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート 観察	ワークシート 観察 レポート 定期考査	ワークシート 観察 レポート 定期考査	ワークシート レポート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

回	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1回・2回	日本国憲法の制定	日本国憲法の基本的性格 基本的人権の保障 新しい人権	○	○	○	○ ○ ○	a:日本国憲法の三大原理や基本的人権について、意欲的に理解しようとしている。 b:日本国憲法と大日本帝国憲法の違いについて考察している。 c:教科書掲載の図や写真の意図について理解し、活用している。 d:日本国憲法の特色を理解している。人権が公共の福祉の制限を受けることを理解している。	ワークシート 観察 レポート 定期考査
3回・4回	平和主義の原理	日本の平和主義 日米安全保障条約と自衛隊	○	○	○	○	a:国際情勢の変化とともに、改憲の論争がおきていることに関心がある。 b:自衛隊に対する政府の解釈の推移をさまざまな観点から考察している。 c:日米安全保障条約と自衛隊に関する資料を収集し活用している。 d:憲法と自衛隊について問題になっている点を理解している。	ワークシート 観察 レポート 定期考査
5回・6回	民主政治のしくみ	国会・内閣・裁判所の機能 政党と選挙制度 国際連合 第二次大戦後の国際政治	○	○	○ ○	○ ○ ○	a:国会・内閣・裁判所の関係と役割について、意欲的に理解しようとしている。 b:選挙制度のしくみや問題点を理解し、日本の選挙制度について考察している。 c:国際連合の役割と課題について教科書の本文やコラムから読み取ろうとしている。 d:国会・内閣・裁判所の機能と権限について正しく把握している。	ワークシート 観察 レポート 定期考査
7回・8回	現代経済のしくみ	経済主体と市場のメカニズム 日本銀行と金融政策 財政の機能と財政政策	○	○	○	○ ○	a:経済主体の活動や政府の財政政策について関心をもっている。 b:独占禁止法の趣旨をふまえ市場の競争について考察している。 c:教科書掲載の図やグラフを読み取り活用しようとしている。 d:財政政策や金融政策の重要性について認識している。	ワークシート 観察 レポート 定期考査

※令和３年度以前入学生用

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。